



栄光めざして  
熊本市立高等学校校長 下条靖



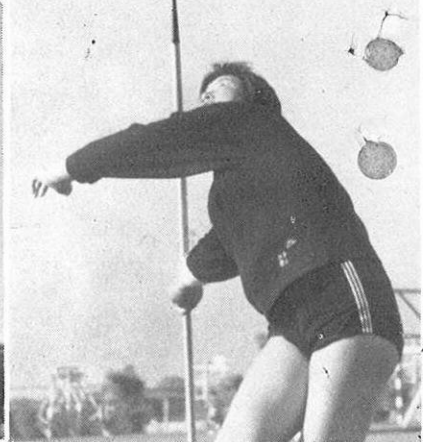
国体めざして

上・数々の戦歴をかたる優勝カツプ

(註) 本号から国体をめざす県下のスポーツ優秀校の姿を連続紹介することにしました。



上・80Mハードル 福島美智子 13秒1 (1959・4平和台優勝)



上・ヤリ投 北園恭子 最高記録 39M25



上・走高 福島美智子 1M48 (1959県高校(女子)新)



上(上)・下(下) 練習のひとこま (上・下) 練習のひとこま



左・走巾井口任子 5M19 (県選手権大会第一位一九五九・五)



(演 技)  
国体は広く一般に運動を普及することがねらわれていますが、国体をやる以上は、地元選手の強いこと、立派な審判員がいることも必要な条件です。  
今後益々合宿、練習会などによって選手を強化する一方、総員約二千六百名を要する審判員は現在の有資格者は約八百名に過ぎないので、今後、出来る限り早く欠員を養成する必要があります。  
又、国体の最大の感激は、開会式にあ

り上げておられますし、開催地事務局でも花いっぱい運動などの具体的計画を考えられていて、心強い限りですが、これを全県下に拡げることが急務であると考えられます。  
(宿泊、輸送)  
輸送関係では、特に開閉会式場たる熊本市は、臨時列車等の関係もあり、国体開催までに、熊本駅を整備する必要があります。国鉄ではすでに用地問題の解決等に乗り出されております。国鉄以外でも各地のバス輸送やタクシー、船舶、市電等、総合的な、或いは局地的な輸送計画が必要とす。  
又、宿泊関係では、各地の旅館の収容数をしらべ、不足の分は民間宿泊についても検討を加えねばなりません。  
九月、十月はもとも観光シーズンで例年相当な人数が本県に集りますから、それらに合わせ早急に具体的な計画を立てる必要があるわけです。  
又、宿泊に関連して、衛生関係やサビスの講習なども必要で、総合的な対策をたてねばなりません。

▼会場の実測をして、駐車関係などもふくめた附属施設について、早く設計をすること。  
▼屋外競技場は、一日も早く、排水その他整地を完了すること。  
▼雨天の時の会場をきめておくこと。  
▼練習会場の整備をはかること。  
▼観覧者の数などを予想し、仮設席などの計画をたてること。  
▼輸送計画、交通経路を早くきめて、

ととも云われていますが、その盛大を期するため、マッスゲーム、プラスチック等が計画されています。マッスゲームは小学校、中学校、高校の男子、女子、婦人会その他、七種、参加人員約八千名が予定され、夫々、練習が重ねられております。  
プラスチックは六百名、コーラスは一千名、鼓笛隊も一千名が計画されて、夫々練習を開始しています。  
県体を通じての反省……★  
本年度の県体は、従来のものと趣きを変え、明年の国体の予行演習的な意味を加え、国体の時の開催予定地である城南海大会が実施されたのです。城南城北大会はいくくの雨天であり、関係者には大それたお気の毒でしたが国体の準備のためにはよい経験でした。  
それは、雨のために、欠陥ある会場などがはつきり分り関係者の関心を強くひいたからです。  
その他、県体でわかつた今後の努力点は次のようなこととあります。  
▼会場が未決定のところは、早くきめること。

▼国体開催は既に決定しているのであります。各県の選手に、最良のコンディションで技を競っていただくために、そして何よりも本県の選手に奮闘して貰うために、乏しきながらも、われわれは、最善の努力を注ぐべきであると考えるのであります。(国体準備事務局)

問題点を解決すること。  
▼宿泊の割当、宿舎の調査すること。  
▼案内所の場所、数、陣容などを計画すること。  
▼婦人会、青年団などの連繫を密にすること(健民運動の徹底化)  
▼細かいことでは、マイクを十分検点しておくこと、挨拶を短くすること  
▼採点表を工夫すること、採点係などの補助員は、ルールを十分知っておくこと、会場内の整備には特に問題があり、又、訓練も必要であること  
一般への普及周知を図るべきこと、などがあります。  
以上のように、共通的には色々批判があるのですが、或る開催地ではそれらの問題が、すべてスムーズに行われ、いつ国体をやつてもよいところもあつて心強い限りです。  
ただ、多くはまだその域に達していませんので以上の問題について、これを解決して行くためには、一そう事務局を早急に強化して、実動にうつるよう、県体を機として、関係者の奮起を心から願うものです。

社会を明るくする運動  
7月1日 — 31日

社会を明るくする運動  
7月1日 — 31日